

令和4年度鹿児島学習定着度調査結果

薩摩川内市教育委員会

1 実施の状況

<p>【学力調査】 令和5年1月17日（火）・18日（水）に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「知識・技能」と「思考・判断・表現」に関する内容の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校第5学年（国語、社会、算数、理科） ・ 中学校第1・2学年（国語、社会、数学、理科、英語） <p>※本調査の目標通過率を全体の7割に設定し、調査問題が作成されている。</p> <p>【学習状況調査】（児童生徒質問紙）令和4年11月21日（月）～12月16日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の学習に関する意識や学び方などに関する調査（質問紙） <p>【学校質問紙調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上の取組、校内研修の状況、家庭・地域との連携等に関する調査 <p>【実施校数】</p> <p>小学校 25校、中学校 10校、義務教育学校 1校 計 36校</p>

2 学力調査の結果

(1) 平均通過率 [数値は%]

本調査は「知識・技能」と「思考・判断・表現」に関する内容の調査で構成され、各学年の各教科の通過率を7割に設定し、調査問題が作成されています。

〔上段は本市 下段は県〕 ※本市の結果 7割以上 → 76.5

		国語	社会	算数・数学	理科	英語
小5	本市	69.6	76.5	65.5	69.8	
	県	70.9	77.5	67.4	71.7	
中1	本市	68.2	70.3	68.8	61.3	72.9
	県	70.4	68.4	70.9	63.2	75.7
中2	本市	69.6	55.3	71.8	62.7	66.9
	県	71.0	55.2	72.5	62.5	67.8

(2) 結果から分かること

【小学5年】

- ・ 社会は県通過率をやや下回りましたが、目標の7割を超えました。
- ・ 国語、数学、理科の3教科は、県通過率をやや下回り、目標の7割を達成できませんでした。

【中学1年】

- ・ 社会、英語の2教科で目標の7割を超え、社会は県通過率も上回りました。
- ・ 国語、数学、理科の3教科は、目標の7割に達せず、県通過率も下回りました。

【中学2年】

- ・ 数学は、県通過率をやや下回りましたが、目標の7割を超えました。
- ・ 国語、社会、理科、英語は、目標の7割を達成できませんでしたが、社会、理科については、県通過率を上回りました。

(3) 成果と課題

ア 成果

- ・ 小学校は、県との差はわずかであり、60%の小学校が全教科の平均が7割を超えました。授業を工夫したり、計画的に多くの練習問題に取り組んだりした成果が表れていることがわかります。
- ・ 中学校は、無答（解答欄が空欄）率が低く、よく考え、最後まで諦めずに問題を解こうとする意欲が向上していることがわかります。

イ 課題

- ・ 小・中学校に共通しているのは、図や表、グラフなどから考えられることをもとに自分の考えを書く問題に課題があります。
- ・ 小学校では、無答率が県より高く、基礎的・基本的な知識を確実に身に付けさせるとともに、最後まで諦めず粘り強く問題に取り組ませる意欲を高める工夫が必要です。
- ・ 中学校では、小テストや日々の課題などで、基礎的・基本的な内容を確実に定着させる手立てが必要です。

(4) 今後の取組

各学校では、県や市の結果と比較したり、間違っただけの解答が多い問題の分析を行ったりすることで、子供たちの学力がどの程度定着しているのか、今後どのような工夫すればよいか、など、学校の課題を明らかにしていきます。また、児童生徒から「授業がよくわかる」「授業に積極的に取り組んでいる」という声が聞かれるような「魅力ある授業」づくりを進めていきます。

教育委員会としては、次の3つの視点を大切にしたい授業づくりについて、
全ての学校に働きかけていきます。



ア 「子供が見通しをもち、学びを進める授業」

子供たちが積極的に学習に取り組むためには、「今日は何を学ぶのか（目標）」「どのようにして学ぶのか（方法）」を理解できていることが大切です。そのために、教師は子供に寄り添い、子供の学びをサポートし続けます。



イ 「子供が対話を通して、学びを深める授業」

子供主体の授業にするために、教室に子供たちの声が響いていることが大切です。子供たちは、自分の考えを積極的に表現し合うことを通して、新たな考えに触れ、自分の考えを深く豊かなものにすることができます。

ウ 「子供が振り返り、学びの実感を味わう授業」

子供たちが学びを実感するためには、授業の終わりに行う学習を振り返る活動の充実が大切です。振り返りの活動を通じて、子供たちは、「何を学び、何ができるようになったのか。」「どのように学んだのか。」などを自覚し、「授業がよくわかる」を実感することにつながります。